

【特集1】親バカトマト
【特集2】農業研修はじまる

“農”

がある暮らし
のなかで

大鏡矢ふれあい公園の花菖蒲（田村市船引町）



地球上に
優しい農業へ
循環型農業



「農園型農業」は、農業・漁業・林業などに出る過剰物を肥料として循環利用すること。資源を可能な限り節減し、持続可能な農業を目指す動きを指します。農業が循環へ与えるリスクを考慮して、助川農園でも、この取り組みを行っています。



もみ殻、わき芽や葉っぱなどの過剰物
自然の微生物で発酵を促し、たい肥を作る
たい肥を使つて、「親バカトマト」を栽培



もみ殻を使用したい肥づくり

「親バカトマト」

目次 -contents-

02	【特集】1 親バカトマト
04	トヒックス
08	自己改善の取り組み
10	【特集】2 農業研究ははじまる 笑顔のさくら 今月のオオスカム野菜 TOPPATEアソブ塾 ベジタルライフ
12	セリ情報／季節のレシピ
15	クロスカード占い
22	読者のこえ
23	J.A.おお知らせ
24	三つ星レシピ

「ブランドが確立したことによって希少価値が上がり、このトマトを作る新規農業者などが良いストートを切ることがで起きるのではないかと思っています。またそれによって自分も作ってみたいと思ってくれる人など、仲間が増えることを願っています。「親バカトマト」は、先輩方が残してくれた宝なので、これからもつと全国各地を広げたいと思っています」と語りました。現在は「つぼうじ」という品種で、助川農園を含め3町で「親バカトマト」を約130トン出荷しています。

このブランド名は、いわき市だけではなく福島県内にも知つてほしいという願いから応募した、福島県主催の「ふくしまベストデザインコンペティション2021」で最優秀となるゴーダルドを獲得しています。

生産者の助川成光さんは、

大事なのは、 良い土作り。

助川農園では土耕でトマトを作っています。土耕で大切なのは、まず土作り。土作りにこだわることで、**固形構造**がしっかりした良い土が出来ます。

固形構造とは、土壌粒子（土の微細粒子）が小粒の集合体を形成している構造のことです。だんだんに体になつた大小の土塊の塊がバランス良く混ざり合い、適度な隙間がたくさんつくられることで、土が柔らかく、通気性に優れ、有用微生物が多く繁殖している作物の生育に適した土となりります。

助川農園では、物理性・化学性・生物性の3つの要素から土作りをしています。特に物理性という点では、米作りをやっている中で出てくるもみ殻や、トマト作りの過程で出てくる芽殻を土に混ぜ、約一年をかけて微生物によって発酵させてたい肥を作っています。この方法によつて、普段なら燃やしてしまう資源も上手く循環することができます。

このように、たい肥作りや土壤分析から土作りにこだわることにより、病気に



かかりにくく、
健康なトマトが育ち、 農業が可能になりました。2004年に、農業と化学肥料の割合を慣行の50%以下に抑えた福島県特別栽培農産物の認定。2017年にはふくしま県GAPE(GAP)の認定を受けています。

また、助川農園は海の近くということで、使用する水は全て地下水で補っています。この地下水に多く含まれるミネラル分がトマトの養分となることで、栄養素も高く、甘味と酸味のバランスがとれた、品質の良いコクがあるトマトが出来るのです。



農産物の魅力をPR! キッチンカー登場



郡山市の農産物直売施設「あぐりあ」にて、地元農産物を使用した料理を提供するキッチンカー「キッチンカーホシキム」が営業を開始しました。

J A 首都圏の魅力をPRし、地元農産物の消費拡大を促すことが目的です。

「キッチンカーホシキム」は、郡山市の公益財団法人星合病院が運営するアートドラッグで、「食」を通じて地域の皆さんとのつながりを築くことを目的に、2020年7月から運営しています。

初回は地元産のかやや鮭や、県産黒鶴の卵といった食材を使用したメニューで、カマの葉を混ぜ込んだ「おにぎりセント」、黒鶴の卵の「フレンチトースト」「だし巻き玉子」の3種類を販売しました。使用した食材の生産者の方の名前を書いたカードも掲示し、地元農産物の美味しさをPRしました。

「キッチンカーホシキム」は昨年から、福島県唯一のプロ野球チームJ Aの農産物を使って考案したメニューを「選手メシ」として、本リーグ戦試合前に提供しています。

今後は、キッチンカーホシキムの販売も予定しています。



組織全体での活動をはじめ、各エリアで開催されたイベントや地域の万歳の交流など、SDGsを含めたさまざまな話題をご紹介・ご報告いたします。

学校屋上 野菜園で夏 栽培



郡山地区本部は、包括連携協定を結んでいる郡山開拓学園の屋上菜園で、食農教育の一環として夏野菜などの苗の定植を行い、栄養士を目指している郡山女子大短期大学部の健康栄養学科2年生26名が参加しました。

同学科では、食育の授業の一環として毎年2年生が屋上菜園で野菜を育てており、野菜への理解を深めることを目的として行なわれます。

草むしりなど畑の整備をし、マルチ掛けした後、キュウリやトマト、ズッキーニなど18種類の野菜の苗約100本を、1本1本丁寧に植えました。

今後、学生の皆さんのが交代で、水やりや草取りを行ない、収穫された野菜は学校実習室で使用する予定です。



交通事故 の怖さを 実感



郡山第五中学校で交通安全教室を行ない、教諭員を含め全校生徒約500名が参加しました。この取り組みは、自転車運学が可能になり、事故に巻き込まれる可能性が高まる中学生に向けて、交通ルールの基本や身近に潜んでいる危険を再確認し、交通安全について理解してもらうことを目的に開催されました。

交通安全教室では、郡山警察署交通第一課・根本雄太郎課長による交通安全講話や、有限公司スーパードライバーズのスタッフ一同にもより実際に起こった交通事故の再現が行われました。

生徒たちは、実際に目の前でトラックや乗用車、自転車を使用した事故再現を見て驚きの声を上げ、交通安全について真剣に考えることができる時間となりました。

当JAは、今後も地域貢献活動として交通安全啓発を実施していきます。



組織全体での活動をはじめ、各エリアで開催されたイベントや地域の万歳の交流など、SDGsを含めたさまざまな話題をご紹介・ご報告いたします。

総代会に 向け事前 説明会開催



5月28日に開く第6回通常総代会に向け、事前説明会を管内5ヶ所で開きました。

今回の説明会では、新型コロナウイルス感染症予防のため、感染拡大地域のいわき地区の説明会は中止し、開催する会場では、説明者、司会者の机に3面アクリルバARRIERの設置や抗原検査キットを準備し、感染予防対策を徹底して行いました。

郡山地区では18日に郡山市の本店小ホールで行われ、担当職員より2020年度の事業報告や2021年の事業計画の説明などを事前にを行い、総代会に向けて理解を深めてもらいました。

参加者は担当職員の説明を真剣に聞き、質問や質疑を交わしていました。



J A 電気 契約者 抽選会



郡山市の本店でJAでんき切り替えキャンペーン抽選会を開催し、役職員ら約30名が参加しました。当JAは、このキャンペーンにおいて契約者数を順調に伸ばしました。JAでんき切り替えキャンペーンは、2020年9月1日から12月末までの契約者で、21年3月末までに電力供給が行われた1,080件の契約者に対し、抽選で100名と全員20名に5,000円相当の福島牛を進呈しました。

JAでんきは組合員が日々利用している電気の料金を安くするため、JAグループが取り扱うエネギーです。組合員の電農や生活コストの削減を図る目的で推進を行っています。



各直売所で GWフェア開催



当JA管内7ヶ所の農産物直売では、ゴルドルフィンワイトクラフトフェアとして様々なイベントを開催しました。

中でも、5月4日には郡山市の農産物直売施設「あぐりあ」で、当JAとオフィシャルプレミアゴルドルフィン・福島県のプロバスケットボールチーム「いわきブレイブサンダース」のトップアスリートが、アダムスを披露したほか、キッズチアのダンスや、管内農産物が景品のじゃんけん大会で会場を盛り上げました。また、会場内では福島ファイアーバンズによるフリースローチャレンジや、グリズ服装も行われました。

その他にも「あぐりあ」では、同じ月9日の「母の日」にちな





凍霜害のピーマンの 事後対策として

たむら地区本部は、4月27日に同地区管内で発生した凍霜害の発生に伴い、凍霜被害のあったピーマンのトンネル栽培生産者35名を対象とした事後対策現地指導会を、三春町と小野町のピーマンの圃場で行いました。

同管内は、ピーマンの作付面積が2,300アールと県内有数の産地ですが、今回の霜の被害により、トンネル栽培（作付面積609アール・生産者70名）の190アール（全体の約8%・トンネル栽培の約3%）の圃場が被害にありました。

今回被害にあったピーマン1万9千本のうち、植替えるピーマン苗5千本はすでに手配し生産者に配布・5千本は凍霜害発生後四月末に仮植し5月末に生産者へ配布される予定となっていますが、

被害にあつた苗を全部植え替える準備が出来ないことから、被害のあつた苗のわき芽を伸ばしていく対応策について指導しました。

今回の指導会では、県中農林事務所田村農業普及所の職員が、凍霜

害発生後の栽培管理やわき芽の整枝方法について説明したほか、当JAが2017年から行っている地域密着型の営農指導体制強化を目的として、生産者の中から委嘱している生産振興推進員（マイスター）の佐久間金洋さんからは、圃場で実際に被害にあつた苗を用いての整枝方法や今後の管理について説明がありました。

当JAでは、今後行政と連携を図りながら、ピーマン苗の育成などについても協議を重ねていきます。また、指導会を実施しながら、生産者のフォローにも努めます。



講義で説明する生久間さん(左)
QRコード



产地化をめざして さつまいも現地指導会

たむら地区本部は、田村市にあるさつまいも専門部会長・佐藤松美さんとの面談で「さつまいも現地指導会」を開催し、18名の栽培希望者が参加しました。

今回の指導会は東北地域農林水産・食品ハイテク研究会の小巻亮巳氏から定植後の栽培管理方法までについて学びました。栽培希望者の方々が今年から栽培を始めるため、雑草の除雲や病害虫対策について基礎から詳しく学びました。

今年秋に同市内では、さつまいもの貯蔵施設が完成予定。生産面積の拡大や、遊休農地の解消のため、さつまいも产地化を目指し、2月には同部会を発足。生産者とJAを中心に連携を強化し、产地化に向け取り組んでいます。

佐藤部会長は「一緒に勉強しながら、頑張っていきましょう」と挨拶しました。



小森氏の指導を真剣に聞く参加者ら



地域で 聚いだクラ ガイソウマ



群生するシマガイソウ

いわき市田人町網木地区「網木クラガイソウを守る会」で管理しているクラガイソウは、当地区で守り育ててきたものでしたが、現在は地区的住民や同市内の有志ら約40名で、年間を通して管理を行っています。例年だと、5月上旬から下旬の花が終了するまで一般開放し、たくさんの方々にクラガイソウを楽しんでもらっていますが、今年は新型コロナウイルスの影響で公開はしておらず、苗の販売のみ行っているということです。

同会代表の平子忠徳さんは「新型コロナウイルスの感染拡大により公開を中止したが、全国各地の皆様から励ましの言葉をいただき感謝している。これからもしっかりと管理し、この冠題を守っていくたい」と話しました。



母の日フェア ア大盛況



いわき地区管内のアーモニアマーケットが、母の日フェアを開催しました。同フェアでは、店内で買い物をした来店者先着100名に赤いカーネーションとお茶バッサクをプレゼントしたほか、野菜苗などの販売やいわき市の居酒屋「伝へん」が店舗前に出店し、からあげの販売を行いました。

当日は開店前から長蛇の列ができ、開店後、店内や店舗前は多くの来店者で賑わいました。

同直営所の木田聖一責任者は「今後も様々なイベントを企画して来客を囲つていただきたい。また、当店では新型コロナウイルスの感染予防対策も

しっかりとつけていますので、安心して来店したい」と話しました。

直営所では、今後も様々なイベントを行ないます。



東北で トップをきって放牧



いわき市常芝山牧野で、牛の放牧が始まりました。繁殖牛の雌牛20頭が青草と茂った草の感触を楽しみました。放牧は妊娠牛が中心で、環境の良い放牧場で適度な運動、新鮮な牧草を吃ることで出産に良い影響を与えます。出産の1ヶ月前まで放牧されます。

面積50ヘクタール、標高819メートルに最大で約80頭放牧が出来ます。昭和44年に公共牧場として放牧を開始し、畜産農家の労働軽減、コスト低減を目的に運営しており、放牧前の検査やワクチン接種、定期的に健康状態観察やワクチン接種を行っています。東北地方で一番早い開牧となります。

同牧野は東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、使用できませんでしたが、2013年から除染を開始し、14年には部分利用再開。県内の公共牧場では一番早く除染が行われ、16年から全面で放牧を再開しました。



のがんごとを食べる牛

自己改革の取り組み

廃校を研究拠点に活用

39回



JJA福島さくらは、2019年より東京農大大学院農学研究科へ化を図る取り組みを行っています。また同大学では郡山市と地域連携して、農校となった畠山屋小学校を農業の研究拠点として2019年から利活用し、20室の教室や校庭を利用してブルーベリーなどの植物工場を作り、品種の改良や農業技術の研究などに取り組み、発達できる農産物の開発を行っています。校庭でプレーべー
ーの栽培を行うほか、校舎では、農学部の先生と一緒に圃場の「イカ」と人間の違い?「モツツアラチーズを作ろう?」といった体験教室を小学校高生を対象に行なってきました。

スケスエ(エジソン)は、毎晩、アーヴィングの「ハーバード」で、音楽を聴いていた。そこで、彼は、音楽が、心の発達に、何よりも大きな影響を与えることを知った。音楽は、心の発達に、何よりも大きな影響を与えることを知った。

復興の軌跡

特定復興再生拠点区域での営農再開に向けて

双葉郡双葉町の羽鳥・長坂地区農地保全管理組合は、5月19日に同町下羽鳥南側の水田で、東日本大震災後10年ぶりの田植えを行いました。

震災前、耕地面積702ヘクタールのうち87%の611ヘクタールが水田で、水稲が主力農産物であったことから、本格的な営農再開に向けて特定復興再生拠点区域での試験栽培を行った。安全と生産性を調査することを目的として、10アールの試験田に福島県オランジール品種『天の花』の苗を植え付けました。

当JA代表理事復興対策本部長で同組合の木幡組合長は、「この地でまた田植えが出来て嬉しい。復興への第一歩を踏み出しが出来た。今回の試験栽培を足掛かりに、行政やJAと連携していくながら、同町の宮越再開を推し進めていきたい」と話しました。また、当JA幹事代表理事組合長は「JAとしても行政や地域と連携しながら営農再開に協力していく」と話しました。



管内の富岡町産「天のつぶ」を100%使用した純米吟醸酒「天のゆる」の販売を当ア農産物直売所全店で開始しました。

原料は同町のふるさと生産組合が作付した福島県オリジナル米「天のつぶ」で、復興支援Rする町の特産品として2018年から醸造。2020年からも福島県喜多方市の中多の華酒造場で醸造しています。2020年版は天のつぶ100%（一袋60g）の玄米を使用し、3千本ア20箱を販売します。



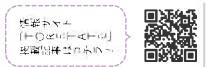
皆様に教んでほしいとPRする護辯組合長

生産組合の渡辺康男組合長は「多くの人に飲んでもらいたい」と話しました。この「天下布石」は、同時に前途を照らす希望の象徴として命名されたお酒です。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に伴う全町避難し、2017年に一部で避難指示が解除となりましたが、基幹産業である農業等が壊滅状態でした。富岡町商工会と同組合が提携し、農業復興の先駆けとなりました。

「天の巻」は、精米率が55%、アルコール度数が16度の無濾過の1回火入れの酒で、すつきりと飲み口の良い味わいに仕上がりています。価格は、720円で、1,650円(税込)です。

当JA横須賀市は「同郷の生産者が復興を願い、丹精込めて栽培した米の酒を多くの皆さんに味わってほしい」と語りました。

当JA担当者は「同町の生産者が復興を願い、丹精込めて栽培した米の酒を多くの皆さんに味わってほしい」と話しました。



ふたば地区
園芸生産部会
果樹事務部会
ははハウスアドバイス栽培指導
ドウバイス栽培指導
会を同部会長
秋元英男さん
の園場で開催
し同地区で
ハウスアドバイ
ス栽培してい
る生産者ら約
26名が参加し
ましました。

この指導会では、伸び出した枝を剪取る新梢管理術、撒播、食の手について畠畠指導など、また、秋元ら根園植物栽培法は、酒井培法とは、根本的に苗を植え付ける方法と施肥の順序などに違いがあります。これには、格別な種までの間隔を一定に保つ方法など、多くの特徴があります。



卷之三

ふたば市地区本部は、新規生産者を対象とした2021年度アスパラガス生産栽培指導会を畠薙町のアスパラガス生産者・遠藤庄一郎さんとの園場で行い、生産者4名が参加しました。

この指導会は、今後の作付け面積拡大と多収穫を目指し、栽培の基本を学ぶことを目的に行われました。

指導会では、生産者らに向け、初年度、2年目、3年目以降の作物にそれぞれのチエツクがポイントを設け、保温やくん水、親差の選定、使用する農薬などを学び、特徴にアスパラガスは多年生の作物のため、定植してから初年度の管理の重要性について説明を行いました。



卷之三



笑々の 農業くら 笑々

＼check!／
トピックス

次代を担う 農業者

栽培している農作物		
✿	ミニトマト	10 10 23
✿	ブロッコリー	a a
✿	ふきのとう	a a



✿ 今後の展望について

今は新規就農者として、まずは物流を安定させていくことを考え、眞面目に丁寧に作業することを中心がけっています。農業は淡々と作業をこなしていくイメージがありましたが、人とのつながりが多く、作つたものを食べてもらえる消費者との顔が近いという面で、豊かさや将来的な可能性を感じています。結果が見えるのに長い時間がかかり、正解がなんらうといふに苦労はしましたが、自分が好きなことができるということは良いところでも悪いところでもあると思います。

今後は、軌道に乗せることを第一の目標にしています。耕作放棄地の解消や、家の周りにある田畠



や県廳をせりつつ、「田舎」が田舎じやない」という人が多い東京で働いていた時の同僚、友達に農業を通して自然が感じられるような場所を提供したいです。ワイワイと楽しめるような農業スタイルを目指しています。

✿これからトーンで 就農を誓っている人へ

農業は自由です。自由だからこそ自分で具体的に考え、どのような農業をしたいのかを確立させる必要があると思います。農業を始めるにあたり、自分の理想と実際の現実とのギャップに苦労する人が多いです。まずは、色々な人や機関に相談して具体的に行動することで、理想とのギャップを埋めつつ、無理なく続けれられる自分の農業を見つけてください。

形にどうわざず、農業を通じて何かをやつてくれたり新しい就農者が増えてくれれば嬉しいです。

田村市では、新規就農者向けに様々なイベントやサポートを行っています。自治体など地域の農業に精通した関係機関が一体となっ



て構成されたプロジェクトでは、相談者ごとに支援チームを結成し、何度も打ち合わせを重ねながら、就農希望者の抱える悩みや課題を解決し、自分に合った農業をスタートさせることができます。新型コロナウイルス流行後も、定期的に「就農」に対する不安や悩みを先輩農家に相談できるオンラインイベントも開催しているので、リターンで就農したいと考えている人は安心です。

田村市常葉町で農業を営む白岩洋さんは、大学卒業後、14年間ほど映像編集や配信を行う会社に勤めていました。しかし、「実家に戻るのなら、両親がいる今のうちに一緒に農業をして基礎を築いていってはうが、これからの将来的にも良い」と思い、2019年に田村市に戻り、田村地域新規就農サポートを受け、岡山アグリサボットたむらで約1年間研修を行ったのちに就農しました。

現在は、収穫の時期は親戚や近所の人にお伝つてもらいながら、ミニトマトを中心にアロコリ・、ふきのとうを両親と共に生産しています。出荷先は主にJJAで、秋口には「ふあせるたむら」に出荷したり、田村市内の若手農家で構成される「アグリクリエイターズたむら」として夏から秋にかけて市役所で月1回「たむらマルシェ」での販賣もしています。



栽培の工夫

苗の間隔を45cmとし、間隔を広げることにより蒸気のリスクを減らしています。採光性を上げることで、収量も安定させています。また、補助金を活用し、トマトのからん水装置をハウス内に導入することにより、省力化につなげています。農業用水には湧き水と地下水を使用し、コスト削減にもなっています。





草野支店管内

小島 理乃 (4歳)
小島 榮樹 (1歳)

父 小島 将太 (しょうた)さん
母 小島 礼 (れい)さん

- ✿ お子さんの長所
元気でやさしいところ!
- ✿ 今ハマっていること
ダンス
- ✿ ご両親から一言
世界で一番大好きだよ!



アシバパンマンに
なるのが
夢です



6月のオススメ野菜

ソラマメ



ソラマメのボタージュや、素焼きにして食べるのがオススメ。

オススメ
調理法



いわき市 岩間町の生産者

穂田 正明さん

農業のごだわりは、季節に応じて、多種多様な品目を取り揃えていること。安心安全で、朝採れの新鮮やさいを出荷しています。ぜひ食べてみてくださいね。



お買い求めください

ファーマーズマーケット
いがつペ

責任者 / 木田聖一



当店では、生産者の方が丹精込めて育てた安心安全な農産物を販売しております。また、季節に応じたイベントを用意しながら皆様のお越しをお待ちしております。6月は、父の日フェアや、トマトフェアを予定しています。

所在地 ▷974-8203 福島県いわき市後田町柳町56
営業時間 9:30 ~ 18:00 (定休日 / 毎月第3水曜日)
お問合せ Tel. 0246 38 5022

Vol. 01

今月の オススメ野菜

JA福島さくら管内の



街を育む
晚酌のひととき
大笠 博文さん
みい子さんご夫婦

浪江支店管内

街を育む
晚酌のひととき

大笠 博文さん

みい子さんご夫婦

今回紹介するご夫婦は、ふたば地区浪江支店管内の大笠博文さん・みい子さん夫婦です。博文さんは、父の跡を継ぎ農業を営み、震災前には梨を2.2ヘクタール栽培する専業農家でした。現在はタラの芽やハウスドウの栽培を行っています。また博文さんは、震災前はレコード鑑賞やオートバイ、現在は養蜂を趣味とし、みい子さんは編み物を楽しんでいます。

夫婦円満の秘訣は、二人で毎日晩酌をすることがあります。お二人とも、笑顔の絶えない仲の良いご夫婦で、「これからも、夫婦お互いに感謝ながら趣味や農業に楽しんでいきたい」と話してくれました。



何度も食べたい

農家のお母さん直伝



三つ星★レシピ

Three star recipe



vol.88

ピーマンと豚挽き肉炒め

● ワンポイント ●

市販の焼肉のタレで絶品のおかずになります。

材 料

4人分

- ピーマン 2個
- ニンジン 1/2個
- 挽き肉 100g
- ニンニク 1カケ
- 油 適量
- 焼き肉のタレ 適量

- ① ピーマンとニンジンを千切りにする。
- ② ニンニク1カケはみじん切りにする。
- ③ フライパンに油をひき、②を入れて熱する。ニンニクの香りが出てきたら、挽き肉を入れて炒める。
- ④ 肉の色が変わってきたら①を入れて炒め、最後に焼き肉のタレを入れて完成。

野菜の肉巻き フライ

材 料

3人分

- 豚ロース 6枚
- 小麦粉 適量
- アスパラ 3本
- 溶き卵 適量
- パプリカ(赤) 1/2個
- パン粉 適量
- 塩こうじ 適量
- 揚げ油 適量
- 塩 適量

- ① 広げた豚肉1枚ずつに塩こうじを塗り、タッパー等に入れて一昼夜漬け込む。
- ② アスパラを塩ゆでし、冷ましながら水気を切る。
- ③ パプリカを縦5mm幅に切る。②のアスパラはパプリカの長さに合わせて切る。
- ④ ①の肉に②と③を並べて巻く。
- ⑤ ④を小麦粉→溶き卵→パン粉の順に付け、180°Cの油で揚げる。
- ⑥ 食べやすい大きさに切り、皿に盛り付けて完成。

● ワンポイント ●

肉を塩こうじに漬けることで柔らかくなり、ソースなしでも美味しい召し上がれます。季節の野菜で巻き巻きしてください。

考案者からひと言

野菜の肉巻きフライは、いっぱい作り過ぎたら冷凍保存して食べたいときに凍ったまま揚げてもいいですし、お弁当のおかずにもピッタリです！ピーマンと豚挽き肉炒めは、ご飯の上のせると何杯でも食べられますよ！

レシピ考案 郡山地区女性部 御館支部

(左から) 滝田 玲子さん、鈴木 たみ子さん

